

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第1部門第2区分

【発行日】令和6年8月13日(2024.8.13)

【公開番号】特開2023-74813(P2023-74813A)

【公開日】令和5年5月30日(2023.5.30)

【年通号数】公開公報(特許)2023-099

【出願番号】特願2021-187947(P2021-187947)

【国際特許分類】

A 6 3 F 5/04 (2006.01)

10

【F I】

A 6 3 F 5/04 6 0 3 D

A 6 3 F 5/04 6 0 3 B

A 6 3 F 5/04 6 1 1 B

【手続補正書】

【提出日】令和6年8月1日(2024.8.1)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

20

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

出音可能な出音手段と、

前記出音手段を制御する演出制御手段と、

遊技者による操作に応じて前記出音手段における音量を設定可能な音量設定手段と、
を備え、

前記音量設定手段は、全体音量を設定可能であり、複数種類のサウンドの音量を個別に設
定可能である

30

ことを特徴とする遊技機。

【請求項2】

前記出音手段は、

前記音量設定手段によって全体音量を設定する場合、遊技者の操作に応じて、前記複数種
類のサウンドのうち特定種類のサウンドを出力可能であり、

前記音量設定手段によって前記複数種類のサウンドの音量を個別に設定する場合、遊技者
による操作に応じて、前記複数種類のサウンドのうち個別に設定を行った種類のサウンド
を出力可能である

ことを特徴とする請求項1に記載の遊技機。

【請求項3】

図柄の変動表示が可能な図柄表示手段を備え、

前記図柄の変動表示状態においては、遊技者の操作に応じた前記音量設定手段による音量
設定を行えない

ことを特徴とする請求項2に記載の遊技機。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 0 2

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 0 2】

40

50

従来からガイドメニュー画面を表示装置に表示させて、左右キーなどの入力部を操作することで音量や光量を所望の量に設定することが可能な遊技機が知られている（例えば、特許文献1参照）。特許文献1に記載されたような遊技機によれば、遊技者が好みの音量や光量などの演出環境を設定できるというメリットがある。

【手続補正3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0003

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0003】

10

【特許文献1】特開2008-295551号公報

【手続補正4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0004

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0004】

ところで、特許文献1に記載されているような演出環境を設定できる遊技機では、演出環境の設定に関して遊技者の利便性を高めることが望まれている。

【手続補正5】

20

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0005

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0005】

本発明は、このような点に鑑みてなされたものであり、演出環境の設定に関して遊技者の利便性を高めることを目的とする。

【手続補正6】

30

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0007

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0007】

出音可能な出音手段と、（例えば、スピーカ35a, 35b）と、

前記出音手段を制御する演出制御手段（例えば、副制御回路200）と、

遊技者による操作に応じて前記出音手段における音量を設定可能な音量設定手段（例えば、音量を設定するサブCPU201）と、

を備え、

前記音量設定手段は、全体音量を設定可能であり、複数種類のサウンドの音量を個別に設定可能である

40

ことを特徴とする遊技機。

【手続補正7】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0008

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0008】

上記構成によれば、演出環境の設定に関して遊技者の利便性を高めることができる。

50